

OSK KHJ岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可(毎月 25 日発行)

平成 27 年 9 月 18 日 OSK 増刊通巻 352 号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 144 号(平成 27 年 9 月)



『KHJ 岡山きびの会』のご案内

2015 年度 年会費 正会員 6000 円 賛助会員 3000 円

月例会参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ 岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。

連絡先 会長 槌谷 富子 〒702-8002 岡山市南区福成 1-128-4 【電話】090-2094-9589

居場所 岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 4 階 (市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)

月・水・土曜：午前 11～午後 4 時、金曜：午後 1 時～6 時 (詳しくは巻末をご覧ください)

「KHJ 岡山きびの会」のお願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

<9月例会のお知らせ>

日 時 平成 26 年 9 月 13 日 (第 2 日曜日) 午後 1:30~5 時
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内 容 ● 演題 知恵を生かして一ボランティア事業へのチャレンジ
講師 NPO 日本教育カウンセラー協会 上級カウンセラー
讃岐ポレポレ農園代表 松田 勝先生
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

<10月例会のお知らせ>

日 時 平成 26 年 10 月 11 日 (第 2 日曜日) 午後 1:30~5 時
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2
内 容 ● 体験発表「0 夫妻 ふたりでの生活」
0 夫人は数年前、当会で発表されたことがあります。
演題 「障害者の就労支援の現状」
講師 地域生活支援センター「パレット」相談支援専門員
矢田 初恵さん
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1,000 円

『ひきこもり大学』（仮）講座 KHJ キャラバンと関わって

グローバルシップス・こうべ代表 森下 徹さん

こんにちは、確か今日で3回目になると思います。1回目は私のひきこもり経験を・2回目にグローバルシップスこうべを立ち上げた経過と活動内容をお話させていただいたと記憶しています。

そこで、今日はKHJさんと一緒にまわった「全国ひきこもり大学」キャラバンの報告をさせていただきたいと思います。「ひきこもり大学」という取り組みは、フリージャーナリストの池上正樹さんと知り合い、フューチャーセッションという当事者・支援者・賛同者といったいろいろな立場の参加者同士が自由に話し合い、未来志向と言うか、将来を一緒に考えるといった、講演会などと違う取り組みの中から生まれました。最初東京で始まって、一昨年のKHJ福岡大会・大阪・兵庫・昨年のKHJ名古屋大会と開かれましたが、どうしても大都市圏でやらざるを得ませんでした。そのあたりのことを池上さんがダイヤモンド・オンラインの「引きこもりする大人たち」という連載に報告されていますので参考にさせていただけたらと思います。そして、「引きこもりする大人たち」を見た人たちや「ひきこもり大学」の新聞記事を見た人たちから、是非地方でも開催してほしいとの声が上がりました。

今年、日本財団の助成事業としてKHJの全国支部で取り組み、その進行役として私が参加しました。岐阜・三重・熊本・愛知・福井・私は行けませんでした。福島・青森・宮崎・愛媛・徳島には宮武さんが参加されて、開催されてきました。8月23日には仙台市でも開催される予定です。11月1日にKHJ全国大会IN香川の2日目にも「ひきこもり大学」が開かれます。私も、KHJの全国支部を回らせていただいて、それぞれの支部の特徴や取り組みなど、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。そして本当に温かく迎えていただきました。

そして、そんな中でひきこもり経験者・当事者から、●自分たちができる仕事がほしい、●いきなり就職はきつい、仲間が集ってできる仕事の機会がほしい、●自分たちが住めるところが欲しい、などの声を聞きました。私も貴重な経験をさせていただき、生き方の問い直し作業ができてよかったかなと思っています。

親と子どもと、時々、他人学

香川当事者団体「node」代表 宮武 将大さん

今日は、「いきづらさサポート・NODE」の代表をさせていただきます、宮武 将大と申します。今日はお招きいただき有難うございます。初め簡単に自己紹介をさせていただきますが、私は1985年生まれで香川生まれの香川育ちです。12歳の頃から不登校になり、20才でアルバイトを始めるまで家にいました。私にとって20歳とは大人だし働かないといけないと思っていましたので、16歳の頃から準備をはじめ20歳の頃からアルバイトを始めました。

アルバイトを始めて改めて感じたことですが、日本社会はすごい学歴社会だということです。アルバイト職場でもそうでした。それならと、勉強はあまり得意ではないのですが、自分でも行けそうな高校を探して勉強を始めました。そこから幸いにも福祉関係の大学にも進むことができ、去年卒業して現在は福祉関係の事業所で働いています。今年30歳になります。

ちょうど大学生のころ頃に、「香川オリーブの会」と出会いました。また、そこでKHJ全国親の会ピアサポーター養成研修受講生募集がありまして、参加しました。2泊3日のハードな研修も無事終えて、現在は仕事の傍ら訪問支援の活動を行っています。

また、オリーブの会に参加する当事者の仲間とひきこもり自助グループ「lamp」を立ち上げ、月1回の[自助会]を開いてきました。それから今年の2月から、ひきこもりだけをキーワードに活動するには限界があるぐらいに「ひきこもりの多様性」を感じて、いろんな生きづらさを感じていることに向き合うため、「生きづらさサポート node」を立ち上げて、訪問活動・相談支援・自助会・講師活動・居場所活動などを行っています。それらが認められ、高松人間力大賞・ユニセフ協会賞を受賞しました。

私の活動のきっかけはオリーブの会ですが、そこで話される親御さん・支援者の方の悩みとか心配されている話の中に、当事者と言うかお子さん達とどういったかかわり方が良いのか、が分からないといった声を聞き、それなら当事者本人から聞くのが一番ではないのか、なぜか当事者と遠い所でご家族の皆さん・支援者の方々が悩んでおられるように感じたことからです。

なぜ、そんなことに陥りやすいのかを考えた時、私たちの周りには本人達のルール以外に、親のルール・他人のルール・大きくは社会のルールがあって、これに当てはまらない時、当事者本人はすごく苦しんでそのルールに入らないといけないと苦しみ、外れた時にはもう僕は（私は）終わってしまった、と感じてしまう。私たちは、初めて人生を歩み、初めて親になって子育てをするわけですから、完璧な子育てができないのが当たり前ではないでしょうか。そこを責められ続けられることは本当に悲しいことです。実際に子供がひきこもった時に、車の運転に例えれば、親が後から車を押してあげることになると思いますが、子供がエンジンをかけて運転できるようにならないと解決しないと思うのです。そこで、考えてほしいのは親子だから全て判りあえている、阿吽の呼吸で行けるとするのは無理があるように思います。

これはある訪問支援での例ですが、親御さんは「とにかく就職してほしい」と望み、当事者のお子さんも髪を切って、スーツ着て、就職活動をするわけですが、中々上手くいかない。親御さんにしてみれば、就職が当面のゴールですが、お子さんにしたら就職はゴールでは無くて、誰からか認められたい、必要とされたい、その所に目標と言うかゴールを見ているのですから、社会の一つのコマとして生きるのではなく、生きる意味を求めているといったように、就職に対しての温度差が感じられました。親子と言っても、生まれた時代・育った環境・まわりの人たちも違うわけですから、そこに親のルールを当てはめようとしても無理があるのではないのでしょうか。

「ひきこもり・障害・不登校・ニート」といった現状だけを見るのではなく、本人がどうやったら生きていけるのか、一歩が踏み出せるのか、気持ちが楽になれるのを理解してあげるのが必要ではないのでしょうか。そして、そういったお子さんは、本当は親御さんよりすごい能力を持っておられて、親御さんのルールに乗れないのかもしれない。親の価値観の中にそれが感じられないのなら、他人に助けを求めてみるのも一つの方法だと思います。

「node」には、結び目になるという願いが込められています。それは「生きづらさを感じてしまっている人達」と「受け入れようとしている社会」の間に立って、大きな落とし穴であったり、つなぎ目が切れている様な所を双方に働きかけていくことによって、少しずつでも階段を上がっていき、お互いがつながっていきけるよう願っているのです。

お知らせ掲示板

居場所活動の読書サロン

若者学級 毎月第4土曜日13時半～18時まで。

昨年6月より始め1年経過しました。一人の若者中心に興味ある事柄（音楽アニメ映画等）が合った数人集まっています。

若者に限らず、どなたでもどうぞ！！

連絡先

槌谷 富子 090-2094-9589

NPO法人津山・きびの会

9月26日(土)13時30分より、矢田初恵さんを囲んでの第2回目の勉強会をします。主題は「相談支援について」です。ご関心のある方は奮ってご参加ください。場所は「トトロの家」です。1回目は「自立支援法について」でした。

トトロの家 (0868-23-0028) の住所
708*0863 津山市小桁 137-2

連絡先 川島焔三 (090-7541-5263)

四国丸亀を歩きませんか。

父親学級の校外編第2回で丸亀探訪ウォークを企画しました。

丸亀といえば、うどん・お城・太助灯籠・焼鳥など、盛りだくさんです。

- 日時 10月3日(日)
10時30分丸亀駅 集合
16時解散予定
- 参加希望の方は
大塚まで ☎086-472-4895 PM5～
岡山 9:32 発～児島観音寺行き乗換
丸亀 10:18 着が便利です

講演会「ひきこもり大学」いかがでしたか。

おふたりとも、カッコ（よかった）です。若い、次の世代に、とても期待できると思いました。

「ひきこもっていた」ことで、新しい人間としての価値を見出しておられると思えました。

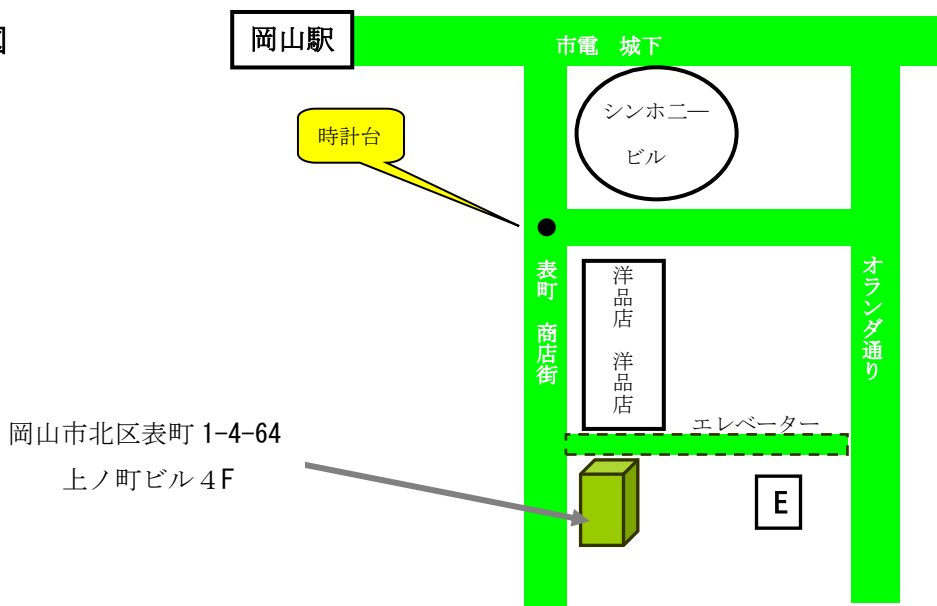
久々に若い方に、みらいをみることができました。

きびの会 居場所・行事カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 居場所	3	4 居場所	5 父親学級 居場所
6 休日	7 居場所	8	9 居場所	10	11 居場所	12 家族教室 居場所
13 定例会	14 居場所	15	16 PC 教室 居場所	17	18 役員会 居場所	19 松田先生 居場所
20 休日	21 休日	22	23 休日	24	25 居場所	26 若者学級 居場所
27 休日	28 居場所	29	30 母親学級 居場所			

きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則)第2土曜日 午後 1 時半 ~ 4 時 担当:西紀子さん
 松田相談日 (原則)第3土曜日 午前 9 時 ~ 午後 6 時 担当:松田勝カウンセラー
 ご 予 約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857
 料 金:会員は1時間 3,000 円 ※定員8名とさせていただきます

母親学級 (原則)第4水曜日 午後1時半~4時
 父親学級 (原則)第1土曜日 午後1時半~4時
 若者学級 (原則)第4土曜日 午後1時半~4時
 パソコン教室 (原則)第3水曜日 午後3時~5時
 お問い合わせ:花谷 電話 080-1908-3861

平成12年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月25日行) 平成26年9月18日発行 OSK 増刊通巻 352号
 発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾 739-1 綾部小百合 (TEL 086-263-7537)
 無断での掲載、転写は禁じます。(定価100円は会費に含まれています)